

いわみ 社協だより

令和元年12月発行 第90号

発行所：岩美町社会福祉協議会

所在地：鳥取県岩美郡岩美町浦富 645 番地

TEL (0857)72-2500 FAX (0857)72-3811

メールアドレス

iwamishakyo@abelia.ocn.ne.jp

ホームページ

<https://www.shakyo.or.jp/hp/1319/>

福祉で町づくり

令和元年度 いわみ見守り・支え合い研修会



講師 LOCALISMLAB. (ローカリズム・ラボ)
 代表 井岡 仁志 氏



【先駆的な活動紹介(DVD)の様子】



現在、町においても住民の自主的な地域づくり活動が行われ、きっかけや規模は色々ですが、地域における、その地域ならではの取り組みが実践されはじめている中、今年度は講師にローカリズム・ラボ代表 井岡 仁志 氏をお招きし、地域での見守り・支え合い活動の進め方、また、それを高める方法などについて『人とつながり、支え合う笑顔あふれるまちづくり』と題し、ご講演いただきました。当日は先駆的な事例等をお聞きいただき、日常生活上の困りごとをはじめ、地域住民同士で情報を共有する大切さについて改めて学ぶことができました。

【主な内容】

- ふれあい福祉大会の報告2P
- サロン活動のご紹介、戦没者合同慰霊祭等の報告3P
- 歳末たすけあい募金スタート4P
- ヘルパー通信5P
- いつ起こるかもしれない大規模災害に備えて…、災害ボラセン設置訓練の報告6P
- 高齢者ファミリー・サポート・システム事業のお知らせ、ボランティア情報7P
- 食事サービスボランティアが「ふれあい会食会」を開催、ご寄付のお礼8P



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分を受けています。

令和元年度 岩美町ふれあい福祉大会 が開催されました！

10月20日（日）に、岩美町内の高齢者、障がい者、ボランティアなど福祉に携わる関係者、そして地域住民など、総勢約410名が一堂に集い、岩美町ふれあい福祉大会実行委員会の主催により、令和元年度岩美町ふれあい福祉大会が装いも新たな岩美町中央公民館で盛大に開催されました。

式典では、金婚を迎えられたご夫妻25組のお祝いをはじめ、社会福祉関係者や老人クラブ役員など、永年にわたり地域福祉に貢献された方々23名、並びに4団体への表彰や、フリーアナウンサーで記者の藪本雅子さんによる『もう一つのボランティア』と題した講演をいただきました。



講師の藪本雅子さん



代表謝辞を述べられる
小田ご夫妻



金婚のお祝いを受けられた25組のご夫妻

午後からの演芸の部では、岩美中学校吹奏楽部の皆さんや町内の婦人組織、福祉団体、同好会等による歌や踊りなど、多彩な内容の舞台演芸が披露され、参会者の皆さんも一緒に歌を歌ったり、体を動かしたりと大いに楽しんでおられました。



岩美中学校吹奏楽部による吹奏楽演奏



感謝（2名）
乙野 護・西村 勲

《敬称略・順不同》

表彰（16名）

谷口 早苗・吉田 和恵・乙野 護

山根 久江・米村 進・舟木 松子

吉田千恵子・鯉口眞智子・前川 清野

西村 静二・大西美登利・小西イサエ

山田 陽子・山下千代子・日下部寛治

山本 淳

町社会福祉協議会長表彰

福祉団体役員功労者（4名）

山内 正義（町老人クラブ連合会理事）

吉村 正紀（町老人クラブ連合会理事）

横田 光男（町老人クラブ連合会理事）

山田 恭子（町社会福祉協議会理事）

ボランティア功労団体（1団体）

ふれあいサロン手仕事の会

ご受賞おめでとうございます

ふれあい福祉大会会長表彰

民生委員・児童委員功労者（1名）

武井里智子

ボランティア功労団体（3団体）

あさひ・ぴよんぴよんサロン

太田むつみサロン

岩井サロンオトコマエ！

ともに支え合う みんなが主役のまちづくり!

◇住み慣れた地域で生きがいをもち、健康で明るく幸せな生活を送るため、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが住みやすい地域を作ることを『地域福祉』といいます。より良い地域社会を築いていくためには、住民として何ができ、何をすればいいのかを考えていただくひとつのきっかけとして、実際に取り組まれている地域福祉活動の一例をご紹介します。

『つながりを紡ぐ、身近な居場所づくり』ふれあいサロン活動



このたび、岩美高等学校福祉類型の2年生12名が地域の高齢者の方と関わり、地域福祉やボランティア活動への理解と関心を高め、ともに支え合い、豊かな人間性の確立を図ることを目的に、大谷地区の『18日の集いサロン』に10月から11月まで、計3回にわたり訪問を重ね交流を深めました。

この地域のふれあいサロンと高校生の交流事業を通して地域に目を向け、社会に奉仕する活動の中で思いやりと感謝の心が培われ、福祉の心が育まれています。

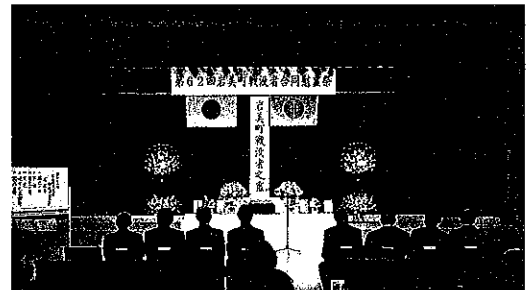
最初は緊張し、とまどいながら応対する場面もありましたが、次第に会話はずみ、笑顔も多くみられるようになり、最後には名残惜しそうに握手を交わしていました。

第62回岩美町戦没者合同慰霊祭が執り行われました

第62回となる岩美町戦没者合同慰霊祭が、11月12日（火）町遺族連合会との共催により岩美町中央公民館で行われました。

この日は、総勢約90人の参列者が集まり、現在の平和の礎を築いた戦没者の御霊の冥福を祈りながら献花を行いました。

遺族の方の高齢化が進む中で、その悲しみと戦争の悲惨さを忘れずに、次の世代に伝えていかなければならないと、平和への誓いを新たにいたしました。



令和元年度

県民総合福祉大会

9月18日（水）に、鳥取市の「とりぎん文化会館」で『令和元年度県民総合福祉大会』が開催され、県内の社会福祉の発展に功績のあった個人・団体の方々が顕彰されました。
受賞された岩美町関係者は、次の皆様です。

鳥取県知事表彰

民生委員・児童委員功労者

西原 幸彦・山根 泰一・山本 順子
山本 勉

鳥取県社会福祉協議会長表彰

民生委員・児童委員功労者

武井里智子
社会福祉施設・団体役員功労者

山本 淳（町社会福祉協議会理事）

社会福祉施設・団体職員功労者

前田慶一郎

（鳥取県厚生事業団鹿野第二かみち園主任支援員）

福本 由美（鳥取福祉会よねさと保育園主任保育士）

千谷 寛子（あすなろ会高草あすなろ副主任調理員）

ボランティア功労個人・団体

岩井サロンオトコマエ!

あさひ・ぴよんぴよんサロン

太田むつみサロン

鳥取県手をつなぐ育成会長表彰

感謝

高垣 英子（町心身障がい児（者）育成会副会長）

《敬称略・順不同》

皆さまのご協力をお願いいたします。

歳末たすけあい運動



スローガン **つながりさえあうみんなの地域づくり**

運動期間：12月1日～12月31日



赤い羽根共同募金

歳末たすけあい募金は、共同募金運動の一環として新たな年を迎える時期に、高齢者、障がい者、子ども及び福祉サービスを必要とする人など、誰もが地域社会の一員として参加できる様々な福祉活動を展開し、地域において孤立することなく、自分らしく安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの幅広い理解と参加を図るため、実施される運動です。

お願い

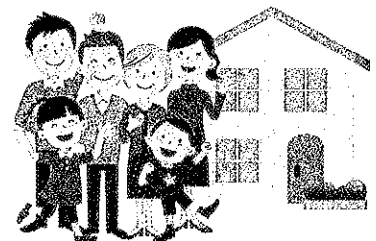
戸別募金・・・1世帯当り200円

※目標額を達成するため、目安額を提示していますが、任意で応分のご寄付をいただければ結構です。本運動の趣旨をご理解いただき、皆さまのあたたかいお気持ちをお寄せください。

募金のつかいみち

※岩美町社会福祉協議会では、歳末たすけあい募金にご協力いただいている住民の皆さまのお気持ちを、より多くの方々にお届けできるよう重点的なたすけあいの配分を心掛ける中で、岩美町民生児童委員協議会と連携を密に図りながら、歳末たすけあい激励物品の配布を実施しており、次の5つの区分（在宅であることが必須条件）により配布先を決定しています。

- ①経済的に支援を必要としている世帯（生活困窮世帯）
- ②常時介護を必要とする寝たきりの高齢者の方
- ③重度心身障がい児（者）
- ④ひとり暮らし高齢者
- ⑤災害遺児（義務教育終了まで）



問い合わせ先：鳥取県共同募金会 岩美町共同募金委員会

岩美町社会福祉協議会 総務福祉課内 TEL72-2500 FAX 72-3811

ヘルパー通信

寒さが身にしみる季節となり、冬のひだまりがことのほか暖かく感じますね。寒い日が続くと手先や足先の冷えが気になりませんか？冷えによる肩こりや腰痛、便秘や肌荒れ、抵抗力の低下などといった症状が多数あり、「冷え症は万病の元」と言えます。

今回のヘルパー通信は、『冷え対策』についてご紹介します。ぜひ参考にしてみてください。



冷え性の改善には、身体を内側から温め、血行を促すとともに自律神経がうまく働くよう生活習慣を整える必要があります。

◎まず、身体をあたためる食事の工夫として、栄養バランスのとれた食事を基本に、冷えが気になるときは身体を温める食材を積極的にとりましょう。反対に、身体がほてっているときは身体を冷やす食材をとります。なお、身体を冷やす食材は、熱を加えると身体を温める食材に変化するので上手にとりいれましょう。

身体を温める食材

例：ネギ、ニラ、ニンニク、玉ねぎ、生姜、唐辛子など

☆血のめぐりを良くして体を温めます。消化を助ける働きや殺菌効果もあるので風邪予防にもなります。



身体を温めるメニュー

例：鍋、雑炊、うどん、スープ、煮込み料理など

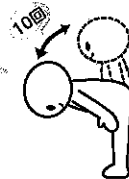
☆鍋物は体が芯から温まり、色々な具材を使う事で栄養がとれます。「あんかけ」のようにとろみをつけると料理が冷めにくくなります。



◎次にお手軽に出来る簡単な体操をご紹介します。無理のないように、体を温めましょう！

①深々といいねいに10回おじぎをします。

これで30分程は、ポカポカになりますよ。



②手・足の指をグーパーします。(座って行うこともできます。)

足の指を大きく開いてパーを次にぐっと閉じてグー



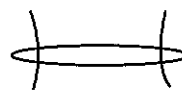
◎その他にも体の温まった熱を逃がさない様にするポイントをご紹介します。



手首



足首



お腹周りのくびれ

これらの部分には、血管が密集しているので、その部分を温めることで、温まった血液が全身に行きわたりやすくなります。寒い時は、それらの部分を衣類で包み込むこと等で保温効果が高まります。冷え対策をしっかりと行って冬を元気に乗り切りましょう。

以上のことに気を付けて、元気に一年を締めくくりましょう！

次回のヘルパー通信は、「認知症予防」についてご紹介しようと思いますので、ぜひご覧ください。

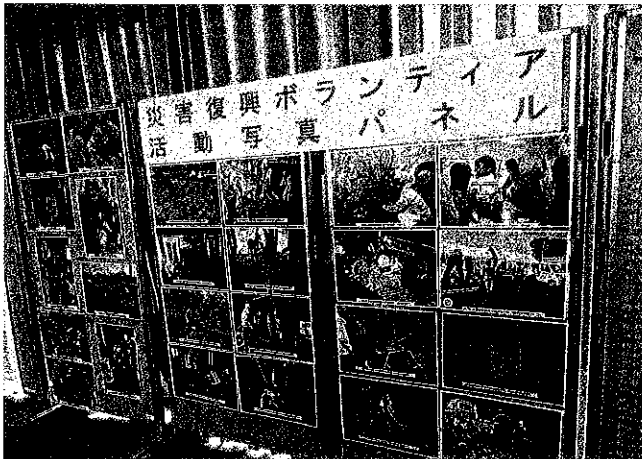
岩美町社協
訪問介護事業所

◎利用日：日～土曜日（1月1日を除く。但し、希望があるときは対応します。）

◎利用時間：午前8時30分～午後5時30分

◎所在地：岩美町浦富645 ◎電話：72-2500 ◎FAX：72-3811

いつ起こるかもしれない大規模災害に備えて…



10月20日（日）に中央公民館で開催され、多くの
人々で賑わった令和元年度岩美町ふれあい福祉大会の
福祉作品展・福祉団体活動紹介会場に、災害復興ボラ
ンティアの活動を紹介する写真パネルを設置し、災害
ボランティアに対する関心と理解を深めていただき
ました。

大規模災害が発生したときには、被災地の復旧・
復興のため、多くのボランティアが活動します。災害
ボランティアの活動は、家屋の片付けや救援物資の仕
分け・運搬などの力仕事だけではなく、炊き出しや被
災した方々に寄り添い心のケアを行う活動など、多岐
に渡ります。

近年頻発する大規模自然災害（地震・豪雨・台風）のたびに、「自分にも何か力になれることがあれば。」
との熱い思いで被災地を訪れる方が増えています。平成28年10月に発生した鳥取県中部地震の際には、県内外
から総数5千人を超える災害ボランティアの方々が集まり、助け合い・支え合いの活動が展開され、災害ボラ
ンティア活動に汗を流す多くの地元住民の姿もありました。また、1府8県に未曾有の
被害をもたらした平成30年7月豪雨（西日本豪雨災害）では、被災各地で延べ26万人
以上のボランティアが活動しました。

また、鳥取県社協が県外被災地支援のため組織する「鳥取県災害ボランティア隊」に
参加し、現地で支援活動に努力する町民の方々の活躍もありました。岩美町社会福祉
協議会では、いつ起こるかもしれない大規模災害に備え災害ボランティアの登録を随時
受け付けています。災害ボランティアとして活動していただける方は岩美町ボランティ
アセンターまで登録をお願いします。



訓練

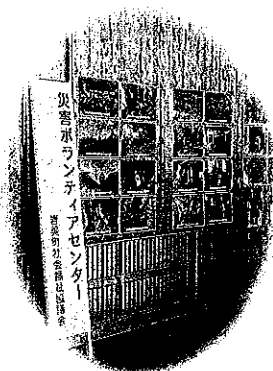
岩美町災害ボランティアセンター設置

10月27日（日）岩美西小学校
を主会場に行われた岩美町防災
訓練において、災害ボランティ
アセンターを設置しました。

このセンターは、岩美町に災
害救助法が適用されるような大
規模な災害が発生したときに、
岩美町社会福祉協議会が開設す
るもので、県内外から参集する
と思われる数多くのボランティ
アの派遣調整や、助け合いの心
で個々の状況にあった災害救援
活動を行うボランティアの募
集、また、屋根のブルーシート
張りやガレキの片付け等でお困
りの方々の受付など、災害復興
の推進を図ることを目的に設置
するものです。

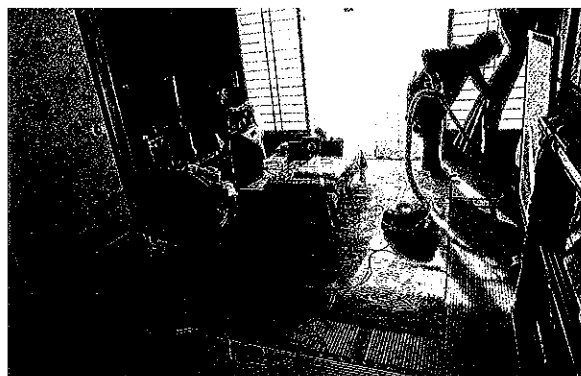
当日は、災害発生時にボラン
ティア活動をしてくださる方の
募集呼び掛けのほか、平成28年
鳥取県中部地震や平成30年7月豪雨災害の災害ボランティア活動写
真パネルの展示や、炊き出し訓練として、お湯が水を加えればご飯
が出来上がるアルファ化米と目衛隊の炊飯車で炊いたご飯をおにぎ
りにしてパック詰める作業を、岩美町赤十字奉仕団の皆さんが実
施されました。

なお、災害ボランティアセンターが開設された場合には、赤い羽
根共同募金の「災害支援制度」により活動資金支援が行われます。



高齢者ファミリー・サポート・システム事業

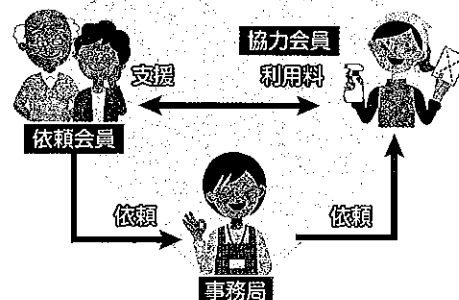
～地域ではぐくむ支え合いの仕組み～



お一人暮らしの高齢者のお宅で室内の清掃作業

岩美町社会福祉協議会では、高齢の方や障がいのある方を対象に、自宅で充実した生活を送っていただけるよう地域のボランティアを仲介し、日頃の生活の中で感じている「ちょっとした困りごと」を解決するため、有償ボランティア活動として、高齢者ファミリー・サポート・システム事業を実施しています。何かお困りのことがあれば、岩美町ボランティアセンター（Tel.73-5177）まで、お気軽にご相談ください。

支援内容	掃除・洗濯・買い物・話し相手・草取り・雪かき等
支援時間	午前9時から午後5時まで （祝日・年末年始を除く）
利用料	1時間 500円 （交通費及び材料費は別途負担）



現在登録いただいている協力会員さんは39名ですが、今後も高齢化が進行し、継続的な支援の依頼も徐々に増えていくなか、より多くの協力会員さんを必要としています。
日常の「ちょっとした困りごと」をお手伝いいただける方は、是非とも会員登録をお願いします。

収集ボランティア

【使用済み切手】 <敬省略>

- ◎福上工業（株）
- ◎山陰合同銀行岩美支店
- ◎FDK（株）鳥取工場
- ◎
- ◎匿名の皆さま



ご協力いただいた皆さんありがとうございます。

社協関連施設でボランティア活動を実施していた皆さんです。（令和元年8月～10月）

【岩美町社協】 <順不同・敬称略>

【たんぽぽの家】
◎ハーモニカフレンズ

【老人福祉センター】

【たきさん温泉】
◎小田仙寿会老人クラブ

ボランティア活動にご尽力いただき誠にありがとうございました。

ボランティアに関する相談・お問い合わせは・・・

岩美町ボランティアセンター

Tel (0857) 73-5177

までお気軽にどうぞ！お待ちしております。

食事サービスボランティアが『ふれあい会食会』を開催！

このたび、食事サービスボランティアグループ浦里会（浦富地区）の皆さんによる「ふれあい会食会」が、10月15日（火）に、なごみの館で開催されました。

この「ふれあい会食会」は、日頃一人で食事をすることの多い高齢者の方に、バランスの摂れた食事を提供し、閉じこもり予防の推進を図るとともに、ボランティア意識の高揚や、思いやりの心、感謝の心を再認識し、更なる地域福祉の充実と発展を目的に実施しています。

当日は、ボランティアの皆さんの手作りによる、心のこもったあたたかい料理がふるまわれ、和気あいあいと食事をした後、ビンゴゲーム等のレクリエーションにより、楽しく有意義な時間を過ごされました。

高齢者の皆さんはもとより、ボランティアの皆さん、民生児童委員の皆さん等、参会者全員が笑顔に溢れ、こうした地域ぐるみでの取り組みが町内全域に広がることを期待しています。



10月	9月	8月	
			住所
			寄付者氏名
			故人名
			続柄

社協へご寄付

令和元年8月～令和元年10月（敬称略）

社会福祉事業に役立ててくださいと篤志のご寄付をいただきました。

【介護用品】

◎

（浦富）

ご寄付をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

